

市民公開フォーラム

～北極圏のいのちと、 未来の動物園を考える～

参加費：無料
(定員：70名)



詳細、申し込みはこちら

日時：2026年3月8日(日)

13:20～16:15(開場13:00)

場所：北海道大学総合博物館1F

知の交流ホール

(札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学構内)

「未来の動物園」の姿を考える

札幌市円山動物園は、良好な動物福祉の確保を根幹に、気候変動教育や生物多様性保全に取り組んできました。当園は現在、世界最高峰のAZA※認証基準に則した運営への転換を目指しています。

本イベントでは、カナダ・トロント動物園の園長を務めるグラント・ファーニス氏をお招きし、世界トップレベルの動物園が、気候変動や生物多様性の保全にどのように向き合い、どのような実践と役割を果たしているのかを共有し、目指すべき「未来の動物園」の姿を皆様とともに考えます。

※Association of Zoos & Aquariums (AZA)：北米を発祥とする動物園・水族館の協会。動物園・水族館における教育、保全、研究等の発展を支援しており、現在、13か国254の施設が加盟。



◆ Toronto Zoo

▶ Grant Furniss 氏 - Director, Animal Care

▶ Molly McGuire 氏 - Manager, Welfare Science

◆ Conservation Dimensions Inc. (CDI)

▶ Rick Baydack 氏

-CDI代表、マニトバ大学元教授

● 札幌市円山動物園

▶ 小菅 正夫 - 札幌市円山動物園 参与

▶ 鳥居 佳子 - 動物専門員

当日は画面翻訳（スクリーンへの日本語表示）による進行となります。

主催：札幌市円山動物園（札幌市中央区宮ヶ丘3番地1）協力：NPO法人EnVision環境保全事務所

お問い合わせ：札幌市円山動物園 保全・教育推進課 電話：011-621-1426